

ひろしま木育アカデミー2022 第6回木材産業編「木材産業に関する活動を取り入れた木育」を9月25日（日）に府中市生涯学習センターにて開催しました。

はじめに、「広島県の木材産業」として広島県の木材産業と県の取り組みについて、広島県林業課の武田剛様よりお話し頂きました。広島県の現状と課題の全体像について共有できたのではないかと思います。次に、「家具の材料として用いられる木材の種類（樹種）と特徴」について一場より、「原木が材料、製品（家具）となるまで」について土井木工株式会社の土井崇義様よりお話し頂きました。土井様のお話では、土井木工の取り組みや原木から家具になるまでの過程を動画などを用いて分かりやすくご説明頂きました。建築とは違うなあ、いろいろな工夫をされているなあ、と思いました。最後に土井様と一場より「木材産業から見た木育の意義と可能性」について、ご自身の考えをお話し頂きました。「子ども大人への取り組み多いが中高生への取り組みが少ないため、子供から大人までのつながりを持たせた取り組みが必要」「山と自分、家具と自分とが繋がっていない、加工の部分がブラックボックスで何やっているか分からないため、点と点をつなげることが必要であり、木育がそのきっかけとなる」などの考えをお聞きしました。

午後は、はじめに「工場を見学しよう」として、土井木工様の工場とショールーム、府中市の施設であり、土井木工さんで製造された家具が使用されている i-coreFUCHU の順に、材料→加工工程→製品→活用の流れで見学を行いました。様々な材料の実物、製造工程と使用されている機械、木材の特性を踏まえた良い家具を作るための工夫などを実際に見ることを通して知る・感じる事ができたのではないかと思います。最後の「木育プログラムを企画しよう」では、ここまでの活動の中で疑問に感じたことを挙げ、本とインターネットで調べると共に専門家に教えて頂く活動を行いました。今後、木育を企画し、実践する中で、分からないこと・問題点をまずは自分で調べ、解決できるようになって頂きたいと思い、このような活動を行いました。



6回目のひろしま木育アカデミー2022では、身のまわりにある・木育として活用されることの多い木製家具がどのような過程で作られているのか、県産材の利用を含めた作り手の思いを体験的に学ぶことを目指して一連の活動をプランニングしました。反省点多々ありましたが、木育の意義を考える場になったのではないかと考えています

次回は、11月12日（土）第7回林業編「林業体験活動を取り入れた木育」を県立もみの木森林公園研修室1を会場に、周辺の森林を体験場所として行います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。